

小学校算数（4年生）

■ 成果(◇)と課題(◆)

- ◇ 小数の加法の計算の基礎的な技能が身に付いている。 設問1(2)
- ◇ 分度器を用いて、180度より小さい角の大きさを求めることができています。 設問4(1)
- ◆ 長方形の辺と辺の垂直の関係、台形、平行四辺形についての理解に課題が見られる。 設問7(1)(3)
- ◆ 示された情報から判断した理由を説明したり、グラフを多面的に捉えメモの情報と折れ線グラフとを関連付けて考えたことを説明したりすることに課題が見られる。 設問6、9(2)

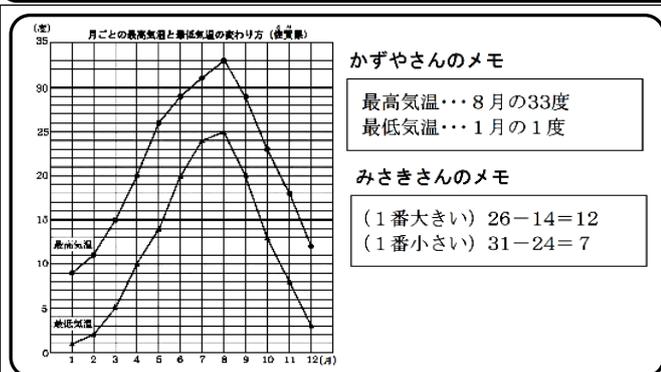
■ 特に課題が見られた設問9(2)の誤答例(・)と解説

<p>・12は、最高気温と最低気温のちがいを表しています。7も、最高気温と最低気温のちがいを表しています。</p>	<p>・12は、最高気温が12度で最低気温は3度です。7は、最高気温が31度で最低気温は24度です。</p>	<p>・12は、1番気温が大きいところです。7は、1番気温が小さいところです。</p>
<p>メモの情報が、最高気温と最低気温の差を表していることを説明することはできているが、何月の最高気温と最低気温の差を表しているのかを説明することができていない。</p>	<p>メモの情報と折れ線グラフとを関連付けて読み取ろうとしてはいるが、12や7を横軸の月と捉えており、メモの情報と折れ線グラフとを正しく関連付けて説明することができていない。</p>	<p>メモの情報をそのまま書いており、メモの情報と折れ線グラフとを関連付けて、最高気温と最低気温の差に着目して説明することができていない。</p>

■ 設問9(2)の誤答傾向を基にした指導改善のポイント

指導改善のポイント

児童が、グラフを多面的に捉えてメモの情報と折れ線グラフとを関連付けて考察することができるようになるためには、以下の授業例のように、グラフを複数の観点で読み取り、グラフと関連付けながら説明することができるように指導をすることが大切です。



① グラフを複数の観点で読み取る。

- このグラフから、どのようなことがわかりますか。
- 8月の最高気温は33度です。また8月の最低気温は、25度です。
- 4月は最高気温が20度ですが、6月と9月では最低気温が20度になっています。
- 折れ線グラフから、いろいろなことが読み取れますね。ほかにもグラフを読んで分かることを書き出しましょう。

② どのような観点で読み取った数値なのかを、グラフと読み取ったことを関連付けながら説明する。

- かずやさんがグラフから読み取ったことは、どのようなことかわかりますか。
- かずやさんは、最高気温が最も高いのは8月の33度、最低気温が最も低いのは1月の1度ということを読み取ったのだと思います。
- みさきさんは、グラフから読み取ったことを式に表していますね。どのようなことを読み取ったか、式や答えの数に注目して説明しましょう。
- みさきさんが表している式は、気温のちがいを読み取っていると思いました。
- みさきさんのメモの「 $26 - 14$ 」の26と14はどのようなことを表しているのかグラフを使って説明できますか。
- 26は5月の最高気温、14は5月の最低気温で、5月の最高気温と最低気温の差を求めていると思います。

小学校算数（5年生）

■ 成果(◇)と課題(◆)

- ◇ 展開図を組み立ててできる直方体の面の位置関係、合同な図形の対応する辺や角を理解することができている。 設問 6(1)、8(1)(2)
- ◇ 立体の体積の求め方を考えることができている。 設問 4(2)
- ◆ 小数の除法についての理解や展開図を組み立ててできる直方体の辺の位置関係の理解に課題が見られる。 設問 3(1)、6(2)
- ◆ 日常の事象を数学的に解釈し筋道を立てて説明したり、グラフの特徴を基に筋道を立てて説明したりすることに課題が見られる。 設問 13、15(2)

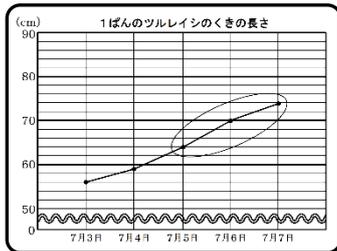
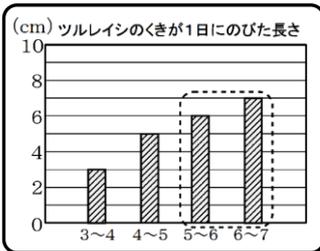
■ 特に課題が見られた設問 15(2)の誤答例(・)

誤答例 1	誤答例 2	誤答例 3
<p>・1ぱんのツルレイシは、5日から6日まででは3cm、6日から7日までは2cmのびています。イのぼうグラフは、5日から6日まででは6cm、6日から7日までは7cmのびています。だから、イのぼうグラフは、1ぱんのツルレイシのくきが1日にのびた長さを表したぼうグラフではありません。</p>	<p>・1ぱんのツルレイシは、5日から6日まででは3cm、6日から7日までは2cmのびています。イのぼうグラフでは、ツルレイシのくきが1日にのびた長さは1cmです。だからイのぼうグラフは、1ぱんのツルレイシのくきが1日にのびた長さを表したぼうグラフではありません。</p>	<p>・グラフ3の7月6日から7月7日ののび具合に対して、イのぼうグラフでは1cmしかのびていません。だからイのぼうグラフは、1ぱんのツルレイシのくきが1日にのびた長さを表したぼうグラフではありません。</p>
<p>折れ線グラフからツルレイシの茎が1日に伸びた長さを捉えることはできているが、一目盛りの大きさを正しく読み取ることができていない。</p>	<p>折れ線グラフからツルレイシの茎が伸びた長さを捉えることはできているが一目盛りの大きさや棒グラフが表していることを捉えることができていない。</p>	<p>グラフからツルレイシの茎が1日に伸びた長さを捉えようとしてはいるが、それがグラフのどの部分に当たるのかを捉えることができていない。</p>

■ 設問 15(2)の誤答傾向を基にした指導改善のポイント

指導改善のポイント

児童が、グラフの特徴を基に筋道を立てて説明することができるようになるためには、以下の授業例のように、グラフを複数の観点で読み取り、グラフとグラフとを関連付けて判断したことを説明することができるように指導をすることが大切です。

② 折れ線グラフと棒グラフとを関連付けて判断したことを説明する。

棒グラフは、1班のツルレイシの茎が1日に伸びた長さを表しているといえますか。折れ線グラフから読み取って分かったことを基に考えましょう。

折れ線グラフからは、1班のツルレイシは5日から6日にかけて6cm、6日から7日にかけて4cm伸びていることが分かりますね。

(児童の間違いを生かして)先生は、5日から6日にかけて3cm伸びていると考えましたがどうですか。

それは違うと思います。一目盛りは2cmです。

〇〇さんが説明したことは、グラフのどの部分を基にして考えているか説明できますか。

〇〇さんが説明したことは、折れ線グラフの〇の部分のことを基に考えていると思います。

でも、棒グラフでは、5日から6日にかけて6cm、6日から7日にかけて7cm茎が伸びています。だから、棒グラフは、1班のツルレイシの茎が1日に伸びた長さを表しているとはいえません。

① 折れ線グラフを複数の観点で読み取ったり、読み取ったことを基に別のグラフに表したりする。

折れ線グラフから、どのようなことが分かりますか。

7月3日は56cm、4日は59cmなどツルレイシの茎の長さが分かります。

茎の長さは、7月3日は56cmで4日は59cmだから、約3cm伸びたことが分かります。

〇〇さんが言ったことは、折れ線グラフのどの部分か説明することはできますか。

〇〇さんが説明したことを、棒グラフに表しましょう。

小学校算数（6年生）

■ 成果(◇)と課題(◆)

- ◇ 被乗数と乗数が共に真分数の乗法、被除数が真分数で除数が仮分数の除法の計算の基礎的な技能が身に付いている。
設問1(3)(4)
- ◇ グラフから比例の関係を見だしてコピーできる枚数を考えたり、示された情報から1か月に平均何冊本が借りられたのかを考えたりすることができている。
設問5(2)、8(1)
- ◆ 円の面積の求め方、比例の関係、等しい比についての理解に課題が見られる。
設問4(1)、5(1)、10(1)
- ◆ 示されたグラフを関連付けて割合を求め正しく表されたグラフを考えたり、三角形の角の大きさの和を基に五角形の五つの角の大きさの和の求め方を考えたりすることに課題が見られる。
設問8(2)、12

■ 特に課題が見られた設問8(2)の誤答例(・)と解説

誤答例 1	誤答例 2	誤答例 3
・アを選択している。	・イを選択している。	・エを選択している。
比べられる量(くらべる量)もとにする量を捉えて、正しく割合を求めることができていない。	グラフ3の棒グラフの棒の形を割合として捉えており、割合が比べられる量(くらべる量)÷もとにする量で求められることを理解することができていない。	グラフ2とグラフ3の棒グラフの大きさを積み重ねたグラフを割合のグラフと捉えており、割合を表すグラフを理解することができていない。

■ 設問8(2)の誤答傾向を基にした指導改善ポイント

指導改善のポイント

児童が、示されたグラフに着目してそれらを関連付けて考え、問題を解決することができるようになるためには、以下の授業例のように、データから問題を見だし、判断したことを説明することができるように指導をすることが大切です。

グラフ1 全校の貸出冊数

グラフ2 全校の物語本の貸出冊数

ア 物語本の貸出冊数の割合

イ 物語本の貸出冊数の割合

ウ 物語本の貸出冊数の割合

エ 物語本の貸出冊数の割合

② 正しいグラフを判断して説明したり、他のグラフが、どうしてこのようなグラフになったのかを説明したりする。

① グラフとグラフを関連付けて考え、複数の観点で読み取ることを通して、問題を見いだす。

グラフ2の棒グラフからどのようなことが分かりますか。

物語本の貸出冊数が増えていることが分かります。

では、物語本の人気はだんだん高まっていると言っていますよね。

そうとは言えないと思います。グラフ1を見ると、全校の貸出冊数も増えているので人気が高まっているといえるかどうかは分かりません。

2つのグラフから物語本の人気が高まっているかどうかを調べることはできませんか。

全校の貸出冊数をもとにしたときの、全校の物語本の貸出冊数の割合を表したグラフは、どのグラフだと思いませんか。

割合を求めると、4月は70%、5月と6月は60%、7月は、40%になりました。だから、ウだと思えます。

どのようにして割合を求めたのですか。グラフや割合の単元で学習した言葉を使って説明しましょう。

割合は、比べられる量(くらべる量)÷もとにする量で求めることができます。比べられる量(くらべる量)は物語本の貸出冊数、もとにする量は全校の貸出冊数なので、4月の割合は、 $140 \div 200$ で求めることができます。

アとイのグラフは、誤ったグラフですね。どうしてこのようなグラフになったのか説明しましょう。

集計結果 ※「◎」は「十分達成」、「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準		到達状況
				十分達成	おおむね達成	
県	7,073	55.6	3.8	80.0	60.0	▼

分類・区別集計

分類	区分	対象設問数(問)	県正答率	県無解答率	到達基準		到達状況
					十分達成	おおむね達成	
学習指導要領の内容・領域等	数と計算	8	56.7	3.9	80.0	60.0	▼
	量と測定	6	63.4	2.6	79.2	59.2	
	図形	6	46.2	3.3	81.7	61.7	▼
	数量関係	6	55.7	5.5	79.2	59.2	▼
評価の観点	①考え方	5	38.0	10.1	71.0	51.0	▼
	②技能	8	73.8	1.5	82.5	62.5	
	③知識・理解	13	51.2	2.8	81.9	61.9	▼
問題形式	選択式	10	55.3	1.6	82.0	62.0	▼
	短答式	14	60.3	3.8	80.4	60.4	▼
	記述式	2	24.4	15.0	67.5	47.5	▼
活用	「活用」に関する問題	3	23.4	13.3	68.3	48.3	▼

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等				評価の観点			問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	①考え方	②技能	③知識・理解	選択式	短答式				十分達成	おおむね達成	
1	(1) 除数が2位数で、被除数が3位数である除法の計算をすることができる	○				○			○			74.1	4.0	85	65	
1	(2) 1/10の位までの小数の加法の計算をすることができる	○				○			○			86.2	0.6	85	65	◎
1	(3) 四則の混合した式を計算することができる			○		○			○			79.8	0.5	80	60	
2	(1) 兆の単位について知り、十進位取り記数法について理解している	○					○		○			62.1	1.9	80	60	
2	(2) 四捨五入について理解している	○					○		○			79.9	0.2	85	65	
2	(3) 小数の意味と表し方について理解している	○					○		○			52.3	0.8	80	60	▼
3	(1) 除法の筆算の仕方を理解している	○					○		○			26.9	2.4	80	60	▼
3	(2) 面積の感覚を身に付けている	○					○		○			37.7	1.5	80	60	▼
4	(1) 分度器を用いて180度より小さい角の大きさを求めることができる	○					○		○			92.4	0.3	85	65	◎
4	(2) 分度器を用いて180度より大きい角の大きさを求めることができる	○					○		○			69.3	0.6	80	60	
5	複合図形の面積の求め方を考えることができる	○				○			○			79.8	1.3	75	55	◎
6	示された情報を基に、必要な数量を見だし、小道具を50個作ることができない理由を説明することができる	○				○				○	○	19.4	11.2	65	45	▼
7	(1) 長方形の辺と辺の垂直の関係について理解している		○				○		○			31.5	1.5	85	65	▼
7	(2) 直線の平行の関係について理解している		○				○		○			75.3	0.8	85	65	

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等				評価の観点			問題形式			活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	①考え方	②技能	③知識・理解	選択式	短答式	記述式				十分達成	おおむね達成	
7	(3) 台形 台形について理解している			○			○		○			37.0	1.0	85	65	▼	
7	(3) 平行四辺形 平行四辺形について理解している			○			○		○			42.2	1.1	80	60	▼	
7	(4) 円の半径と直径を理解している			○			○		○			70.1	5.4	85	65		
8	(1) m ² で表された面積をcm ² で表すことができる	○					○		○			61.3	2.4	80	60		
8	(2) □を用いて数量の関係を式に表すことができる			○			○		○			64.4	1.7	80	60		
8	(3) 分配法則について理解している			○			○		○			55.5	4.8	80	60	▼	
9	(1) 折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができる			○			○		○			62.7	1.7	85	65	▼	
9	(2) メモの情報と折れ線グラフとを関連付けて、最高気温と最低気温の差に着目していることを説明することができる			○			○		○	○		29.4	18.8	70	50	▼	
9	(3) 折れ線グラフの特徴を理解している			○			○		○			42.6	5.4	80	60	▼	
10	台形が敷き詰められた図形の中から見いだした平行四辺形について説明することができる			○			○		○	○		21.2	9.9	70	50	▼	
11	示された情報を基に、図書館で過ごした時間を考えることができる	○					○		○			39.9	9.1	75	55	▼	
12	除法に関して成り立つ性質を理解している	○					○		○			53.1	10.0	80	60	▼	

集計結果 ※「◎」は「十分達成」、「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準		到達状況
				十分達成	おおむね達成	
県	7,430	65.4	3.0	80.2	60.2	

分類・区別集計

分類	区分	対象設問数(問)	県正答率	県無解答率	到達基準		到達状況
					十分達成	おおむね達成	
学習指導要領の内容・領域等	数と計算	9	67.1	3.2	80.6	60.6	
	量と測定	5	71.3	0.7	79.0	59.0	
	図形	7	60.0	3.2	79.3	59.3	
	数量関係	6	58.8	6.8	79.2	59.2	▼
評価の観点	①考え方	5	44.9	9.2	71.0	51.0	▼
	②技能	10	71.7	2.5	82.5	62.5	
	③知識・理解	11	68.9	0.7	82.3	62.3	
問題形式	選択式	11	65.8	0.8	80.5	60.5	
	短答式	13	71.0	2.4	81.9	61.9	
	記述式	2	26.3	19.5	67.5	47.5	▼
活用	「活用」に関する問題	4	35.3	11.3	70.0	50.0	▼

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等				評価の観点			問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	①考え方	②技能	③知識・理解	選択式	短答式				十分達成	おおむね達成	
1	(1) 被乗数、乗数が共に小数の乗法の計算をすることができる	○					○		○		82.3	0.2	85	65		
1	(2) 被除数、除数が共に小数の除法の計算をすることができる	○					○		○		82.8	0.4	85	65		
1	(3) 被除数が整数、除数が小数の除法の計算をすることができる	○					○		○		76.0	1.4	85	65		
1	(4) 四則が混合し、()を用いた式の計算をすることができる			○			○		○		80.6	0.6	80	60	◎	
2	(1) 小数の数の仕組みを理解している	○					○		○		88.4	0.3	85	65	◎	
2	(2) 最大公約数を求めることができる	○					○		○		72.1	3.9	85	65		
2	(3) 整数と小数の大小関係を理解している	○					○		○		69.3	0.3	85	65		
3	(1) 小数の除法について理解している	○					○		○		53.0	0.8	80	60	▼	
3	(2) 二つの数量の関係を□、△を用いて表すことができる			○			○		○		71.1	0.7	80	60		
4	(1) 立方体の体積を求めることができる	○					○		○		70.4	1.1	80	60		
4	(2) 立体の体積の求め方を考えることができる	○					○		○		83.5	0.8	75	55	◎	
5	(1) 単位量当たりの大きさを図と関連付けて理解している	○					○		○		66.4	0.3	80	60		
5	(2) 単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解している	○					○		○		41.5	0.5	80	60	▼	
6	(1) 展開図を組み立ててできる直方体の面の位置関係を理解している			○			○		○		90.7	0.4	85	65	◎	

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等				評価の観点			問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	①考え方	②技能	③知識・理解	選択式	短答式				記述式	十分達成	
6	(2)	展開図を組み立ててできる直方体の辺の位置関係を理解している		○					○			28.7	1.0	80	60	▼
7		示された情報を解釈し、条件に合うグループの数とそれぞれのグループの男子と女子の人数を、筋道を立てて考えることができる	○							○	○	46.5	5.2	70	50	▼
8	(1)	合同な図形の対応する辺を理解している		○						○		86.1	0.6	85	65	◎
8	(2)	合同な図形の対応する角を理解している		○						○		85.7	0.6	85	65	◎
9		測定値の平均を理解している	○						○			94.4	0.5	80	60	◎
10		図形の特徴を的確に捉え、正方形の対角線の特徴を基に、円の直径を使って正方形をかくことができることを考えることができる		○					○		○	42.1	0.9	75	55	▼
11		二つの観点から整理した表の合計欄に入る数を求めることができる			○					○		43.4	4.5	80	60	▼
12		折れ線グラフの変化の特徴を読み取ることができる			○					○		83.1	0.9	85	65	
13		日常の事象を数学的に解釈し、本棚をいくつ並べることができるか、筋道を立てて説明することができる	○	○							○	33.3	16.3	65	45	▼
14		合同な三角形をかくために必要な条件を理解している		○					○			53.1	2.4	80	60	▼
15	(1)	ツルレイシの茎の長さの伸びを、棒グラフに表すことができる			○					○		55.5	11.4	80	60	▼
15	(2)	グラフの特徴を基に2つのグラフが対応していないことを、筋道を立てて説明することができる			○						○	19.2	22.7	70	50	▼

集計結果 ※「◎」は「十分達成」、「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準		到達状況
				十分達成	おおむね達成	
県	7,360	58.8	2.1	79.3	59.3	▼

分類・区別集計

分類	区分	対象設問数(問)	県正答率	県無解答率	到達基準		到達状況
					十分達成	おおむね達成	
学習指導要領の内容・領域等	数と計算	7	73.5	1.0	82.9	62.9	
	量と測定	7	61.3	4.0	77.9	57.9	
	図形	7	51.4	2.3	78.6	58.6	▼
	数量関係	7	47.3	1.5	76.4	56.4	▼
評価の観点	①考え方	8	50.6	4.8	71.9	51.9	▼
	②技能	11	69.7	1.2	82.3	62.3	
	③知識・理解	8	51.9	0.7	82.5	62.5	▼
問題形式	選択式	9	53.6	1.0	78.9	58.9	▼
	短答式	16	65.0	1.4	80.6	60.6	
	記述式	2	32.1	13.0	70.0	50.0	▼
活用	「活用」に関する問題	4	35.7	7.6	68.8	48.8	▼

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等				評価の観点			問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	①考え方	②技能	③知識・理解	選択式	短答式				十分達成	おおむね達成	
1	(1) 被除数が整数、除数が小数の除法の計算をすることができる	○				○			○			78.7	1.2	85	65	
1	(2) 異分母分数の加法の計算をすることができる	○				○			○			79.3	0.8	85	65	
1	(3) 被乗数、乗数が共に真分数の乗法の計算をすることができる	○				○			○			86.8	1.6	85	65	◎
1	(4) 被除数が真分数、除数が仮分数の除法の計算をすることができる	○				○			○			93.4	1.0	85	65	◎
1	(5) 加法と乗法が混合した分数の計算をすることができる			○		○			○			42.2	1.5	85	65	▼
2	(1) 問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことができる	○				○			○			79.7	0.6	80	60	
2	(2) 1に当たる大きさを求めるために、除法が用いられることを理解している	○				○			○			75.4	0.6	80	60	
3	問題と図を関連付けて、数量の関係を理解している	○				○			○			21.5	1.1	80	60	▼
4	(1) 円の面積の求め方を理解している	○				○			○			55.8	0.3	80	60	▼
4	(2) 円の面積を求めることができる	○				○			○			64.0	0.7	80	60	
4	(3) 円周を求めることができる			○		○			○			33.9	1.2	80	60	▼
5	(1) 比例の関係を理解している			○		○			○			35.9	0.6	80	60	▼
5	(2) グラフから比例の関係を見だし、6分間でコピーできる枚数を考えることができる			○		○			○			81.8	1.5	75	55	◎
6	(1) 線対称な図形における対応する辺の位置関係を理解している	○				○			○			69.4	0.3	85	65	

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等				評価の観点			問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	① 考え方	② 技能	③ 知識・理解	選択式	短答式				記述式	十分達成	
6	(2)	点対称な図形における対応する点の位置関係を理解している		○				○				74.1	0.4	85	65	
7		三角柱の体積を求めることができる	○				○			○		69.3	1.2	80	60	
8	(1)	示された情報から、6年生が1か月に平均何冊本を借りたのかを考えることができる	○				○			○		76.0	1.1	75	55	◎
8	(2)	示された情報から、全校の貸出冊数を基にしたときの、全校の物語本の貸出冊数の割合を表すグラフを考えることができる			○		○			○		29.6	1.4	65	45	▼
9	(1)	速さと道のりから時間を求めることができる	○				○			○		70.5	1.9	80	60	
9	(2)	台形の面積を求めることができる	○				○			○		68.7	1.9	80	60	
10	(1)	等しい比について理解している			○		○			○		32.4	0.9	85	65	▼
10	(2)	比の問題場面において、数量の関係を表す図を基に、部分の量を考えることができる			○		○			○		60.4	1.2	75	55	
11		日常の事象から、示された二組の道のりが等しくなる根拠として、図形を見だし、その図形の特徴を考えることができる		○			○			○	○	39.2	5.2	70	50	▼
12		三角形の角の大きさの和を基に、五角形の五つの角の大きさの和の求め方を考えることができる		○			○			○		43.5	4.3	75	55	▼
13		合同な三角形をかくための、必要な条件を理解している		○			○			○		50.9	1.4	85	65	▼
14		日常の事象から、比の考えを使って考える場面を見だし、旗の下書きをかく長方形の紙の大きさと、下書きにかく円の大きさを考えることができる		○	○		○			○		49.0	3.2	70	50	▼
15		示された情報を解釈し、往復の時速の求め方を筋道を立てて説明することができる	○				○			○	○	24.9	20.8	70	50	▼